

プロトコール名		1クールの日数	放射線治療
去勢抵抗性前立腺癌 オラパリブ療法		28日	■なし □あり
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)		
d1-28	① リムパーザ 600 mg/日(1回300mg 1日2回)		
コメント			

プロトコールに関する解説
<p>遠隔転移がある去勢抵抗性前立腺がんのうち、がん細胞に特定の性質がみられる患者さんに用いられる内服薬による治療です。リムパーザの治療対象となるがん細胞はブーアールシーエー(BRCA)遺伝子変異という性質があります。こうした性質を持つがん細胞では、パープ(PARP)という物質が生存に重要な働きをしています。リムパーザがこのPARPの働きを邪魔することで、治療対象となるがん細胞の死滅が起こります。よって、リムパーザが使用できる患者さんは、BRCA遺伝子変異があるかたに限られます。臨床試験により、従来のホルモン療法と比較し、有意な治療成績が示されており、新たな標準治療のひとつと認められました。ただし、一定の副作用の出現も認められ、必要に応じて減量、休薬や中止が必要となります。薬剤の特性を理解いただくために、開始に際して数日程度、入院をしていただくこともあります。</p>